



当初予算成立

平成25年度

問い合わせ 企画財政課 ☎2121

わがまちプラン（第五次大竹市総合計画）では、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をテーマとして、10年後の大竹市が笑顔・元気 かがやく大竹になるよう、6つの基本目標を定めています。

6つの基本目標

- 大竹を愛する人づくり
- 生活基盤が整ったまち
- 安全なまち
- 安心できるまち
- 心にゆとりを感じるまち
- 行政・社会の仕組みづくり

この計画に基づき、一歩一歩進んでいくことが市民の皆さんが考える「よいまち」の実現につながると考えています。

平成25年度は、厳しい財政状況の中、予算規模は縮小しましたが、その中でも皆さんが生涯幸せに生活できるように、

安心・安全のための取り組みを進めます。また健康保持に向けての予防、施設の長寿命化対策、市民自治の促進などの事業に、4月1日から一部を変更した新しい体制で効率的・効果的に取り組みます。

一般会計・特別会計の当初予算の概要

一般会計は前年度当初予算と比べ5・1%減となっています。

歳出は晴海臨海公園整備事業などの土木費や、工場等設置奨励金などの商工費が増加し、小方小学校・小方中学校移転改築事業などが一段落した教育費が大きく減少しています。

歳入は、小方小学校・小方中学校移転改築事業等の減少により、市債や国県支出金が減少しています。

7つの特別会計の合計は、76億7,378万円で前年度と比べ4・7%増となっています。

ついては、国や県からの補助金や駐留軍等再編交付金をはじめとする財源を有効に活用することとしており、計画的に事業を進めることで財政負担の軽減を図っています。

★市民自治の促進

地域活動の拠点である集会所の整備や、市民活動団体が主体となり地域の課題解決のために提案・実施する事業への助成といった市民主体のまちづくりに取り組みます。

★施設の長寿命化対策

橋については、長寿命化修繕計画に基づき健全度の低い市道橋2橋の修繕または更新を検討するため、点検調査を行います。また、公園、市営住宅についてもそれぞれの計画に基づき長寿命化対策を行います。

★健康保持に向けての取り組み

健康保持に向けて、健康増進計画及び食育推進計画を策定します。健康で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすこと、食に関する知識、正しい食生活を推進することを目指します。

項目	内容	平成25年度 ()は前年度	前年度比 (%)
歳出		136億6,931万円 (144億19万円)	▲5.1
議会費	議会の活動にかかる経費	1億9,653万円 (2億239万円)	▲2.9
総務費	市の一般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	15億6,162万円 (13億7,871万円)	13.3
民生費	生活保護や児童・高齢者などにかかる経費	37億7,761万円 (37億5,425万円)	0.6
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	11億2,205万円 (10億7,109万円)	4.8
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億4,185万円 (1億2,005万円)	18.2
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	1億7,981万円 (2億3,199万円)	▲22.5
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	4億6,306万円 (3億8,531万円)	20.2
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	27億138万円 (20億7,793万円)	30.0
消防費	消防・救急業務や災害対策の経費	5億287万円 (4億3,955万円)	14.4
教育費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	9億5,788万円 (27億6,105万円)	▲65.3
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	- (-)	0.0
公債費	過去の借入金の返済金	20億4,465万円 (19億5,787万円)	4.4
予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000万円 (2,000万円)	0.0

※災害復旧費は名目のみ予算計上しています。

項目	内容	平成25年度 ()は前年度	前年度比 (%)
歳入		136億6,931万円 (144億19万円)	▲5.1
市税	市民税や固定資産税など	54億4,035万円 (54億4,974万円)	▲0.2
分担金および負担金	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	2億3,364万円 (2億2,151万円)	5.5
使用料および手数料	市営住宅使用料、ごみ・し尿処理使用料、各施設の使用料など	3億1,175万円 (2億5,050万円)	24.5
財産収入	土地売却収入、寄付金など	1億2,376万円 (1億5,581万円)	▲20.6
繰入金	財政調整基金繰入金、企業会計退職手当組合負担金繰入金など	8億8,120万円 (10億969万円)	▲12.7
諸収入など	他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	5億4,720万円 (5億2,374万円)	4.5
地方譲与税など	国や県が徴収した税の一部を一定割合で交付されるお金	4億776万円 (4億4,127万円)	▲7.6
地方交付税	市の財政力などに応じて国から交付されたお金	14億4,765万円 (15億2,700万円)	▲5.2
国庫支出金	特定の目的のために国から交付されるお金	17億5,831万円 (20億1,266万円)	▲12.6
県支出金	特定の目的のために県から交付されるお金	6億8,538万円 (7億2,936万円)	▲6.0
市債	大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金	18億3,231万円 (20億7,891万円)	▲11.9

一般会計 136億6,931万円

平成25年度会計別予算

名称		区分	予算額	前年度	対前年度比 (%)
水道事業会計	収益的	収入	5億1,877万円	5億1,945万円	▲0.1
		支出	5億1,772万円	5億1,337万円	0.8
	資本的	収入	6,252万円	7,159万円	▲12.7
		支出	1億6,739万円	1億8,630万円	▲10.2
工業用水道事業会計	収益的	収入	4億9,287万円	5億7,763万円	▲14.7
		支出	5億1,807万円	5億2,722万円	▲1.7
	資本的	収入	1億9,252万円	2億2,452万円	▲14.3
		支出	4億3,728万円	4億6,115万円	▲5.2
公共下水道事業会計	収益的	収入	7億7,260万円	7億7,768万円	▲0.7
		支出	7億6,685万円	7億7,261万円	▲0.7
	資本的	収入	4億3,200万円	5億9,676万円	▲27.6
		支出	7億1,210万円	8億8,553万円	▲19.6

一般会計・特別会計

名称	予算総額	前年度	対前年度比 (%)
一般会計	136億6,931万円	144億19万円	▲5.1
特別会計計	76億7,378万円	73億3,272万円	4.7
国民健康保険	37億529万円	34億5,374万円	7.3
漁業集落排水	3,235万円	2,907万円	11.3
農業集落排水	4,397万円	4,217万円	4.3
港湾及び漁港施設管理受託	6,076万円	5,577万円	8.9
土地造成	8億3,361万円	9億2,469万円	▲9.8
介護保険	25億8,525万円	24億3,127万円	6.3
後期高齢者医療	4億1,255万円	3億9,601万円	4.2
合計	213億4,309万円	217億3,291万円	▲1.8

平成25年度主要事業

(新規・拡充分・その他主なもの)

1 大竹を愛する人づくり

○市制60周年記念事業(新規)

300万円

市制施行60周年となる平成26年9月1日に向けて市民と行政が協働して考え、実施する事業を展開します。わがまちプランの重点取組方向のうち、特に「市民主体のまちづくりの推進」「生涯元気な心と体づくり」の方向性を強く推し進め、「笑顔・元気がやく大竹」の実現に資する事業を実施します。

○玖波小学校施設整備事業(新規)

1,270万円

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校の校舎の耐力度調査、地質調査を実施し、基本構想を策定します。

○学校給食運営事業(拡充)

7,253万円



給食センター

2 生活基盤が整ったまちづくり

○養殖漁業技術開発支援事業(新規)

200万円

阿多田地区の養殖業を支援するため、流通・養殖技術・ブランドの確立について研究する費用を補助するものです。阿多田島のハマチのブランド化を研究していきます。

○橋りょう長寿命化対策事業(新規)

770万円

長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い市道橋2橋について、修繕または更新を検討するために詳細な点検調査を行います。

○晴海臨海公園整備事業(新規)

5億5,132万円

隣接する商業地区と一体となって、子どもから高齢者まで多様な人々が訪れ、スポーツやレクリエーションなどで憩い楽しめる公園の整備を行います。今年度は野球場・テニスコート・管理棟を整備します。

3 安全なまちづくり

○化学機動隊整備事業(新規)

106万円

重大な化学災害に対応する、専門知識を持った精鋭部隊として「化学機動隊(大竹ハズマツト)」を立ち上げ、万が一重大な災害が発生した場合に市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちの構築を目指します。



大竹ハズマツト

○水防体制整備事業(拡充)

1,405万円

前年度の土砂・洪水・高潮に引き続き作成する地震災害・津波災害の避難地図(ハザードマップ)や水防活動に必要な資機材等の整備を行い、防災意識の高揚を図ります。

4 安心できるまちづくり

○福祉避難所運営事業(新規)

21万円

災害が発生した場合などに高齢者や障害者等、一般の避難所では避難生活が困難な方が安心して避難できる介助機能の整った福祉避難所(ゆうあいホーム)を開設します。

○障害者(児)福祉施設開設等補助事業(新規)

600万円

生活介護、就労継続支援、就労移行支援のサービスを法人が市内で事業展開できるように支援し、障害者(児)へのサービスの充実を目指します。

○健康増進計画及び食育推進計画策定事業(新規)

486万円

健康で自立した生活ができる「健康寿命」を延ばすため、予防を重視し、様々な観点から健康をとらえ、新たな健康増進計画を策定します。

5 心にゆとりを感じるまちづくり

○アゼリアホール改修事業(新規)

1,420万円

大竹会館講堂(アゼリアホール)の正面階段に手すりを設置し、多目的トイレに改修するなど、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を

6 行政・社会の仕組みづくり

○市民活動支援事業(拡充)

557万円

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民活動の自主性の向上を図ります。

○地区集会所整備事業

85万円

コミュニティ活動の拠点である自治会が設置する地区集会所の整備を支援することで、コミュニティ活動を促進し市民自治の振興を図ります。また、地区集会所だけでなく自治会が所有している施設・設備等についても、地域住民が主体的に補修(新

7 住みたい、住んでよかったと感じるまち

○広島県緊急雇用対策基金事業(新規)

2,180万円

失業者に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供を図ることを目的として、市民健康づくり、ごみ減量、地域の魅力発見・発信、協働のまちづくり、食育推進、マロンの里活性化に関する事業を実施します。



マロンの里

※ 事業費は全て1万円未満を四捨五入しています。



こいちゃん

用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入をもって特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【駐留軍等再編交付金】

在日米軍の再編等により負担の増える市町村に対して交付される交付金。大竹市の場合、平成19年度から33年度までの15年間で約40億円が交付予定。平成25年度は2億7,734万円が交付される見込み。

予算書をお読みください

(消費税込み1,000円)

予算書(A4版304ページ)は、1,000円、当初予算の概要は無料で、市役所企画財政課、各支所で販売、配布しています。

また、市立図書館や情報公開コーナー(市役所1階)、市のホームページでもご覧いただけます。



情報公開コーナー